

C
I
P
S
Children
Invention
Project



こども発明プロジェクト

ワークショップ
発明チャレンジ

こども発明プロジェクト
世話人 弁理士 山崎幸作



発明チャレンジ

— 概要 —

対象：小学生から高校生まで

所要時間：1時間～6時間

参加可能人数：6人～45人程度
(1～7チーム)

— 流れ —

日常生活での問題点を見つける。
(街のゴミ問題、たまねぎを切ると涙が出る、など)

できるだけ多くの問題点を見つけ、付箋に書き出す。

問題点を分類して、取り上げるべき問題点を絞り込む。

絞り込んだ問題点を解決するためのアイデアを考える。

アイデアを実行するための発明を考える。

問題点と、それを解決するための発明を発表する。

※面白いアイデアは無料で特許申請します。



発明チャレンジ

このプロジェクトでは、

- 1 問題点の発見 → 問題点設定力
- 2 問題点の書き出し → 問題点の顕在化力
- 3 問題点の整理と絞り込み → 問題点の体系化力や異なる意見の調整力
- 4 アイデア・発明を考える → 問題解決力
- 5 問題点と発明を発表する → 伝える力

を養うことができます。

これらの能力は、こども達が社会に出たときに必ず求められる能力です。



発明チャレンジ

このプロジェクトは、こども達に本物の体験を提供することを目的としています。既に説明致しました一連の作業は、社会人が日常の仕事を通して求められている能力でもあり、ある意味で本物の体験と言えます。こどもの時からこのような体験をすることで、次の世代を担ってくれるリーダーが育つのではないのでしょうか。

また、本プロジェクトでは、こども達の発明を無料で特許申請（正式には「出願」と言います）致します。全件とはいきませんが、ユニークな発明であれば積極的に申請しようと考えております。こども達が「もしかしたら自分のアイデアで特許申請できるかも」と思うと、取り組み方もより真剣になるのではないのでしょうか。また、特許申請したという経験は、大人になったときに良い思い出になると思います。



発明チャレンジ



こども発明プロジェクト
世話人 弁理士 山崎幸作
yamazaki_kosaku@yahoo.co.jp



こども発明プロジェクト

検索

「こども発明プロジェクト」は登録商標です。



こども発明プロジェクト

ワークショップ

発明チャレンジ

ー概要ー

- ・やること : みんなで発明を試みる
- ・対象 : 小学生から高校生まで
- ・所要時間 : 約1時間～
- ・参加可能人数: 6人～45人程度(1～7チーム)

ー流れー

[お願いしたい事前準備]

- ・こども達に、日常生活での問題点を書き出しておいてもらう。
(例: 街のゴミ問題、たまねぎを切ると涙が出る、など)
- ・予めこども達のグループ分けをしておいてもらう。

[イベント当日(2時間の場合)]

- ・(5分)スタッフ自己紹介と概要説明
- ・(25分)問題点を分類して、取り上げるべき問題点を絞り込む。
- ・(30分)絞り込んだ問題点を解決するためのアイデアを考える。
- ・(20分)アイデアを実行するための発明を考える。
- ・(30分)問題点と、それを解決するための発明を発表する。
- ・(10分)スタッフによるコメントと閉会

ーこのプロジェクトで鍛えられることー

- 1 問題点の発見 → 問題点設定力
- 2 問題点の書き出し → 問題点の顕在化力
- 3 問題点の整理と絞り込み → 問題点の体系化力や調整力
- 4 アイデア・発明を考える → 問題解決力
- 5 問題点と発明を発表する → 伝える力

ープロジェクトが目指すことー

このプロジェクトは、こども達に本物の体験を提供することを目的としています。既に説明致しました一連のプロセスは、社会人が日常の仕事を通して求められている能力でもあり、ある意味で本物の体験と言えます。こどもの時からこのような体験をすることで、次の世代を担ってくれるリーダーが育つのではないのでしょうか。

また、本プロジェクトでは、こども達の発明を無料で特許申請(正式には「出願」と言います)致します。全件とはいきませんが、ユニークな発明であれば積極的に申請しようと考えております。こども達が「もしかしたら自分のアイデアで特許申請できるかも」と思うと、取り組み方もより真剣になるのではないのでしょうか。また、特許申請したという経験は、大人になったときに良い思い出になると思います。

こども発明プロジェクト
世話人 弁理士 山崎幸作
yamazaki_kosaku@yahoo.co.jp

